問いのコミュニティ

ここは、日々の判断に関わる「語」のはたらきを問い、
ことばを受け取る感覚 と 名づける感覚を養う場です。

私たちは、しばしば強い語に反応し、
また強い語を置くことで、場を動かしてしまいます。

しかし、その語は本当に事態を捉えているのか。
その語を用いることで、何かを見落としていないか。

たとえば、
- ある職場やコミュニティにいる特定の人物を「困ったひと」と呼ぶことで、何が動き出してしまうのか。
- こうした悪印象を喚起する短い記号は、流通速度が速い。
- 脅威につながる情報に、ひとは注意を向ける性質があり（ネガティビティ・バイアス）、
  かつ、ゴシップには「社会のリスク管理」としての機能もあるためだ（R. ダンバー）。
- このため、危険や脅威につながる存在は情報共有されやすく、悪い噂ほど拡散しやすい。
- では、こうした記号が拡散するとどうなるか。
- 必ずしも事実ではなくとも「A 銀行は危ない」と噂された結果、人々が一斉に預金を引き出し、
  本来は健全だった銀行でも、現金不足になり、結果として本当に破綻してしまう。
- 典型的な「自己成就的予言」（R. マートン）だが、初期の誤った信念が、現実をつくってしまう。
- 不安を喚起すること、自分にとって重要であること、真偽が曖昧であること。
  これらは、噂や記号が拡散しやすい条件として知られている。

ことばは、個人・集団・組織・市場・国家・公共圏のあいだを流通し、
それぞれの認識や判断、行為に作用します。

ある語を「受け取った」とき、その語だけで性急に判断していないか。
ある語を「選んだ」とき、その語が何を発生させ、何を見誤るのかを考慮しているか。

「問いのコミュニティ」は、あることばをどう受け取り、何を、どのことばで名づけるのかを問いながら、
受け取り、名づけ、判断する一連の言語実践を検討する場です。

日々の認識と判断に関わる「語」のはたらきを確かめ、
ことばを受け取る感覚と、名づける感覚を養います。

開催日時	開催場所・参加費	連絡先
開催日　2026 年 12 月 9 日（水） 時間帯　19:00 ～ 21:00 ・全 5 回（26 年 8 月～ 27 年 1 月） ・11 月は休会します	場　所　オンライン（リアルタイム開催） ・参加方法は、別途ご案内します。 参加費　初回 5,000 円。以後 7,000 円（税込） ・初回とは、この会への初めての参加を指します。	Email : info@archipelagos.jp Web : https://question-community.org 主催：設樂剛事務所